

財団の活動



補助金

基礎から事業化までのあらゆるステージ・分野を対象とした研究開発を支援します。

補助・助成メニュー

- 若手研究者の先端研究開発
- 大学と企業の共同研究開発
- 中小企業等が行う新技術・新製品開発
- 道内各地域の新商品開発



地域支援

地域資源を活用したもののづくり支援や産業クラスター形成などを通じて、地域活性化を図ります。

支援内容

- 道産商品の企画・製造・販売までを一貫サポート (HOFOOプロジェクト)
- 食品産業クラスターの形成支援



新製品・新商品開発 その他の事業化支援

研究成果・ビジネスアイデアの実用化・事業化へ向けて、あらゆる側面からサポートします。

支援内容

- 産学連携プロジェクトの創出・支援
- 技術開発・事業化に向けた専門家派遣
- 事業化に向けた市場調査



講座・セミナー

地域社会の課題、企業のニーズに対応した講座・セミナーを開催します。

講座・セミナー実施例

- 省力化に向けた先端技術導入
- IT企業等のヘルスケア分野への新規参入
- ヘルシー Do創造塾



組織・連絡先

事務局

総務企画部	TEL／011-708-6525 FAX／011-708-6529 E-mail／soumukikaku@noastec.jp	●財団組織に関すること ●コラボほっかいどうに関すること ●一般的なご質問・ご相談
事業戦略統括部	TEL／011-792-6150 FAX／011-747-1911 E-mail／toukatsu@noastec.jp 【チャレンジフィールド北海道】 TEL／011-792-6151 FAX／011-747-1911 E-mail／yugo@noastec.jp	●事業の戦略立案に関すること ●未来創造プロジェクトに関すること ●産学融合に向けた仕組みづくりに関すること ●スタートアップの創出・育成に関すること
研究開発支援部	TEL／011-708-6392 FAX／011-747-1911 E-mail／kenkyu@noastec.jp	●研究開発支援に関すること ●ライフサイエンス・ヘルスケア産業支援に関すること
ビジネスソリューション支援部	TEL／011-792-6119 FAX／011-747-1911 E-mail／hcluster@noastec.jp	●実用化・事業化、販路開拓の推進に関すること ●ものづくり産業の技術力・生産性の向上に関すること ●産業界におけるデジタルトランスフォーメーションの推進に関すること
産学連携支援部	TEL／011-708-6536 FAX／011-708-6529 E-mail／sangaku@noastec.jp	●産学官連携交流に関すること ●北大R&B P構想の推進に関すること ●スタートアップ創出に向けたGAPファンドの運営に関すること
幌延地圏環境研究所	〒098-3221 天塩郡幌延町栄町5-3 TEL／01632-9-4112 FAX／01632-9-4113 E-mail／h-rise@h-rise.jp	●深地層の基礎研究 (堆積岩、地下水、微生物)に関すること
地域クラスター創造支援部	TEL／011-708-6526 FAX／011-708-6529 E-mail／chiiki@noastec.jp	●地域クラスター創造に関すること ●食の高付加価値化、販路開拓に関すること

賛助会員制度のご案内

事業の目的に賛同される企業・団体及び個人の方々と密接な関係を保ち、あわせて事業の円滑な運営と北海道の産業振興に資するために、賛助会員制度を設けています。ぜひご賛同いただき、入会のうえ、ご利用くださるようおすすめいたします。会費は税制上の優遇措置が受けられます。

年会費

1口 3万円(1口以上)
(個人会員の場合1口 1万円)

入会メリット

- 商品・技術開発支援
- 事業化支援
- 販路開拓支援
- その他各種支援

NOASTEC

ノーステック財団

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター
〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう



北海道大学北キャンパスエリア



ノーステック財団 コラボほっかいどう



事業案内

NOASTEC

ノーステック財団

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター

NORTHERN ADVANCEMENT CENTER FOR SCIENCE & TECHNOLOGY

代表者からのご挨拶

ノーステック財団は、2001年の設立以来、北海道経済の成長を支える“産業クラスター創造”に向け、「研究開発から事業化までの一貫した支援」を活動理念として、産学官連携による産業創出基盤の構築、研究成果の実用化・事業化支援、個別プロジェクトによる新事業・新産業の創出に取り組んで参りました。

当財団が20年以上に渡り、これらの活動を続けてこれたのは、偏に地域企業及び賛助会員の皆様のご支援と、産学官金の関係機関の皆様のご協力の賜と、深く感謝申し上げます。

現在、北海道は、人口減少、少子高齢化による課題が山積していることに加え、長きにわたるコロナ禍の影響や物価高騰等により、経済は先行きの見えない大変厳しい状況が続いております。

一方で、「ゼロカーボン北海道」、「DX・GXの推進」、「食料安全保障強化」、そして次世代半導体拠点の千歳市進出など、北海道の明るい未来につながる大きな動きを千載一遇のチャンスと捉え、産学官をあげた「オール北海道」で取り組んでいかなければなりません。

当財団は、2020年に策定した北海道のあるべき姿へ向けた長期ビジョン「2030ビジョン」の達成に向けて事業を進めています。このビジョンでは、「課題解決と経済発展を両立し豊かさを実感できる北海道を目指し、新たな価値を創造し続けること」を財団の使命とし、人材の育成や北海道の稼ぐ力の向上に資する産業の創出・育成に取り組むなかで、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも貢献していくことを定めております。

当財団は、これまで培った成果・ノウハウ・ネットワークを駆使するとともに、新しい技術や発想を柔軟に取り入れ、「2030ビジョン」に基づき、活動を継続して参ります。今後も引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年4月1日 ノーステック財団理事長

藤井 裕



2030ビジョン ～2030年北海道のあるべき姿へ向けて～

ミッション

北海道に
「新たな価値」を
創造し続ける

ビジョン

課題解決と経済発展の
両立により豊かさを
実感できる北海道

ノーステック財団は、「豊かさを実感できる北海道」の実現に向け、財団の目指す方向性を「2030ビジョン」として策定し、多様化する社会に柔軟に対応しながら、北海道が抱える様々な課題の解決に取り組みます。

ビジョン実現に向けた3つの視点(SDGsにコミットする注力テーマ)

ビジョン実現に向けて、「ヒューマン」「生産性」「持続可能性」の3つの視点に、「地域」(地域の魅力や課題)と「テクノロジー」(デジタル技術)を組み合わせ、創造的なかけ算により、新たな価値を創出する取組みを推進します。この取り組みは、「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に貢献するものです。

※持続可能な開発目標(SDGs)とは
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。



3つの創造的なかけ算による新たな価値の創出

ヒューマン×地域×テクノロジー
人が集まる暮らしやすい社会

**健康科学産業クラスターの成果を活用し
個人の生活の質を向上**

- 革新的医療技術の開発支援
- 健康・医療産業のデジタル化促進
- セルフヘルスケア・健康長寿の実現

生産性×地域×テクノロジー
多様な人材が活躍できる社会

**分野・業種を超えたネットワークと
革新的デジタル技術を活用した
生産性向上**

- 各産業のデジタル革新(AI、IoT、ロボット導入支援)
- 地域の稼ぐ力向上

持続可能性×地域×テクノロジー
地域の魅力を生かし自立した社会

持続可能な社会 基盤形成

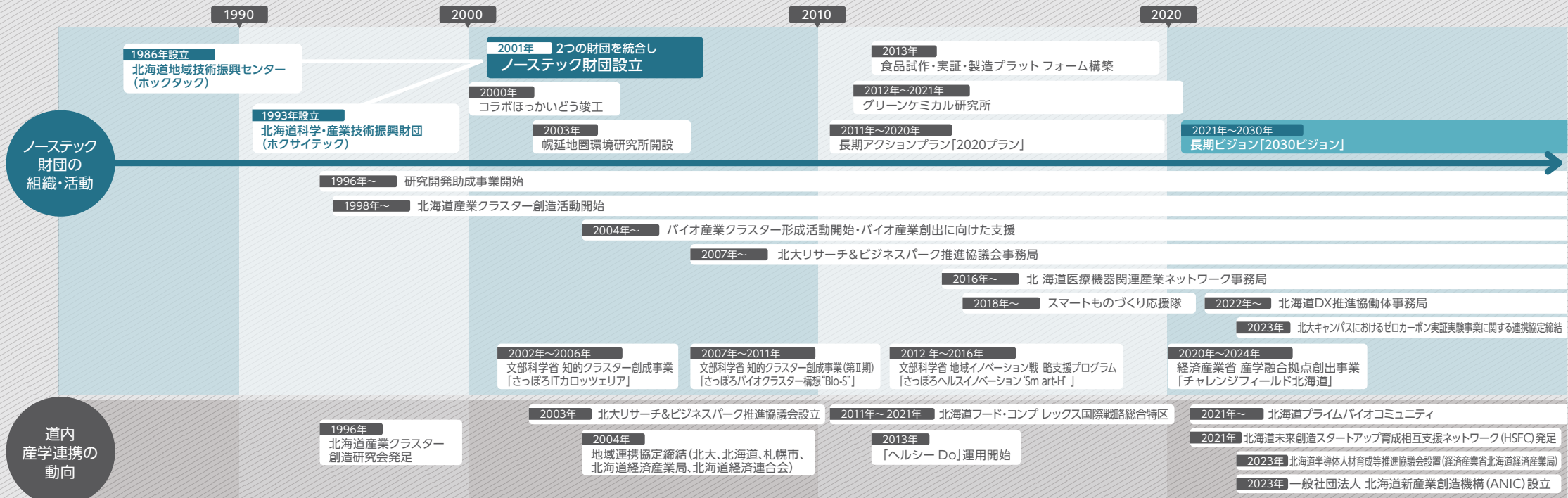
- 環境負荷の少ない革新的ものづくり技術の実用化支援
- 地産地消エネルギーシステムの実現
- バイオマス活用、気候変動・災害対策

ビジョン実現に向けた4つのアクション

これまで蓄積してきたノウハウ・ネットワーク・連携基盤を最大限に活用し、「社会課題の解決」と「ビジネス創出(価値創造)」につながる新しい形の産業クラスター創造活動を推進します。「見つける」「つなげる」「育てる」「広げる」の4つのアクションで、ビジョン実現に向けた活動を展開します。



ノーステック財団のあゆみ



4つのアクションと事業化に向けた支援

研究開発から事業化までを継続的にサポートします。

